

学ぶ つながる 役に立つ

令和4年7月14日

豪雨災害から4年たちました。先週、梅雨が明けた途端に台風による大雨が降り、とても心配しました。呉市立学校では先週一週間を「呉市学校防災週間」として、災害から「自分の命は自分で守る」ことについて学習しました。安浦小も8日(金)に全校一斉に「防災学習」を行いました。1学期も残り1週間となり、もうすぐ子どもたちが楽しみにしている夏休みとなります。災害のない穏やかな夏であることを願うばかりです。

【 ~ 呉市学校防災週間 「自分の命は自分で守る」 ~ 】



1年生は、地域の民生委員児童委員さんたちと一緒に「安全・安心の最初の第一歩」として、体を動かし、声を出して遊びながら学ぶ「ぼうさいダック」をしました。

例えば、地震の時は「ダック=あひる」のポーズです。写真のように両手を頭に寄せながらかがみ込む動きをします。この動きには、「地震の時には、まず頭を守ろう」というメッセージが込められています。

「防災学習」では5年生が防災について学習したことをスライドにまとめ、他学年の教室で発表しました。5年生が先生役になって学習をすすめました。学習では5年生から次のような問題がありました。

「広島県内には、あぶない場所(危険箇所)がいくつあるでしょう?」
① 4万8千か所 ② 3万8千か所 ③ 2万8千か所
正解は、お子さんに聞いてみてください。



「防災学習」では、地域の防災リーダーさんから、安浦町には危険箇所がたくさんあることや、いつ起きるかわからない災害に備えることについて話をいただきました。

学習の最後に、「防災のちかい」として、学んだことや願いを短冊に書きました。(児童玄関に掲示しています。)

7月6日(水)の給食は「救給カレー」でした。袋をあけて、スプーンでまぜてカレーを食べました。